

日本美術院の創設者・ホストン美術館東洋部長

# 空前絶後の 岡倉 天心

生誕150年・没後100年記念

展

大観、春草、近代日本画の名品を一堂に

2013年 11.1(金) ▶ 12.1(日)

休館日▶11月11日(月)、18日(月)、25日(月)

開館時間▶午前10時~午後6時(入館は5時30分まで)

初日を除く金・土曜日は午後8時まで(入館は7時30分まで)

料金▶一般1000円(前売り800円)・大高生700円・中小生500円

※30名以上の団体は2割引 ※学生割引は学生証の提示が必要です。

※障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は半額。

主催▶福井県立美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

共催▶福井放送株式会社

協賛▶ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン

特別協力▶東京藝術大学大学美術館

## 福井県立美術館

〒910-0017 福井市文京3-16-1

TEL:0776-25-0452 FAX:0776-25-0459

http://info.pref.fukui.jp/bunka/bijutukan/bunka1.html

※岡倉覚三=岡倉天心



「東洋と西洋とは、W.S.ピゲロウ&J.E.ロッジ  
岡倉覚三において相い合したのである」

Town and Country誌 『茶の本』は哲学、宗教、美と芸術の本である  
—1906年8月11日

「元来岡倉君は天才肌の人であって、美術界に於ける其の功労は決して没すべからざるものである」—高田早苗

「もしわが国が文明国となるのに血なまぐさい戦争の栄光によらねばならぬなら、我々は甘んじて野蠻人であろう」

岡倉天心『茶の本』



横山大観「流燈」茨城県近代美術館蔵